しょう3 こくご「話し合い・新聞・文の書き方」 その2

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿　　がつ　にち　てん ＿＿＿＿ / 20

1　「りんご・バナナ・ねこ・みかん」の 中で、なかまに 入らない ものは?

ア みかん　**イ** りんご　**ウ** バナナ　**エ** ねこ　こたえ ＿＿＿＿

2　話し合いの はじめに、し会が まず みんなに つたえる ことは?

ア 今日 話し合う ぎ題　**イ** 話し合いの けっか　**ウ** さいごの まとめ

エ 自分の すきな 食べ物　こたえ ＿＿＿＿

3　目次と さくいんの ちがいで 正しい ものは?

ア 目次は 本の はじめ、さくいんは 本の おわりに ある

イ 目次は 本の おわり、さくいんは 本の はじめに ある　**ウ** どちらも 本の おわりに ある

エ どちらも 本の はじめに ある　こたえ ＿＿＿＿

4　「だ・である」で 書くと、文 章は どんな かんじに なる?

ア 言い切って きっぱりした かんじ　**イ** とても ていねいな かんじ

ウ たのんで いる かんじ　**エ** たずねて いる かんじ　こたえ ＿＿＿＿

5　友だちの 意見に 反対する ときに 気を つける ことは?

ア 大きな 声を 出して 言い負かす　**イ** 相手の 考えも みとめて、理由を 言う

ウ だまって 下を 向いて しまう　**エ** 相手の 意見を みんなの 前で わらう　こたえ ＿＿＿＿

6　意見が 2つに 分かれた とき、し会が すると よい ことは?

ア すぐに じゃんけんで 決めて しまう　**イ** 話し合いを とちゅうで やめて 帰る

ウ それぞれの よい ところを くらべて 話し合う　**エ** し会が 一人の 考えで 決めて しまう

こたえ ＿＿＿＿

7　「わたしは 三年生だ。」を「です・ます」の 文に 書きかえた ものは?

ア わたしは 三年生だよ。　**イ** わたしは 三年生である。　**ウ** わたしは 三年生です。

エ わたしは 三年生だった。　こたえ ＿＿＿＿

8 新聞に 写真や 図を のせると よいのは なぜ?

ア 新聞が 重く なる　イ きじの 数が へる　ウ 文を 書かなくて よく なる

エ きじの ようすが 目で 見て 分かる　こたえ ＿＿＿

9 「犬・チューリップ・うさぎ・ひまわり」を 二つの なかまに 分ける。どんな 見方で 分けると よい?

ア 動物か 植物か　イ 名前の 字の 数　ウ 色が 赤いか 白いか　エ 家に いるか いないか

こたえ ＿＿＿

10 さんせいの 意見を 言う ときに、いっしょに 言うと よい ことは?

ア まえの 日の 天気　イ ほかの 人の 名前　ウ 自分の すきな 色　エ そう 考えた 理由

こたえ ＿＿＿

11 本の はじめの ほうに あって、書いて ある ことの じゅんに 見出しと ページが ならんで いる ものは?

ア 目次　イ あとがき　ウ さくいん　エ おくづけ　こたえ ＿＿＿

12 「その 日は 風が 強かったです。木の えだが ゆれて いた。」を「だ・である」に そろえた ものは?

ア その 日は 風が 強かったです。木の えだが ゆれて いた。

イ その 日は 風が 強かった。木の えだが ゆれて いた。

ウ その 日は 風が 強かったです。木の えだが ゆれて いました。

エ その 日は 風が 強い。木の えだが ゆれて いる。　こたえ ＿＿＿

13 新聞の きじは、ふつう どんな じゅんで 書く?

ア いちばん 知らせたい ことを はじめに 書く

イ いちばん 知らせたい ことを さいごに 書く　ウ 思いついた じゅんに 書く

エ 知らせたい ことは 書かずに おく　こたえ ＿＿＿

14 「ぼくの 町には 川が あります。夏には ほたるが 見られます。ぼくは この 川を 大切に したいと 考えて います。」話の 中心は?

ア 夏に ほたるが 見られる こと　**イ** ぼくが 町に 住んで いる こと　**ウ** 町に 川が ある こと

エ 川を 大切に したい こと　こたえ ＿＿＿

15 話し合いで「ぎ題」と いうのは 何の こと?

ア 話し合いに かかった 時間　**イ** 出た 意見を 書いた 紙　**ウ** 話し合いを 進める 人

エ 話し合って 決める ことがら　こたえ ＿＿＿

16 「3年生が 町の 図書館を 見学した。」この 文に 書かれて いない ことは?

ア どこで　**イ** だれが　**ウ** いつ　**エ** 何を した　こたえ ＿＿＿

17 新聞の「見出し」の 書き方で よい ものは?

ア きじと かんけいの ない 言葉を 書く　**イ** きじの 文を ぜんぶ そのまま 書く

ウ 小さな 字で きじの いちばん 下に 書く　**エ** 短い 言葉で、きじの 中身が 分かる ように

こたえ ＿＿＿

18 物語ばかり 読んで いる 人に すすめたい 読み方は?

ア 同じ 本を 何回も くり返し 読む　**イ** せつ明の 本や 図かんなども 読む

ウ 本の 題名を 見て おわりに する　**エ** 本を 読むのを やめる　こたえ ＿＿＿

19 次の うち、ふつう「だ・である」で 書く ことが 多い ものは?

ア 先生に 出す お礼の 手紙　**イ** おばあちゃんへの はがき　**ウ** 新聞の きじ

エ お客さんへの あいさつ　こたえ ＿＿＿

20 話し合いで、「のこりは あと 5分です」と みんなに 知らせる 役わりは?

ア し会　**イ** 記ろく係　**ウ** 時計係　**エ** 発表する 人　こたえ ＿＿＿

こたえと かいせつ　しょう3 こくご「話し合い・新聞・文の 書き方」 その2

1　**エ ねこ**

食べる ものは どれかな。

2　**ア 今日 話し合う ぎ題**

これから 何を 話すのか。

3　**ア 目次は 本の はじめ、さくいんは 本の おわりに ある**

さくいんは 本の うしろの ほう。

4　**ア 言い切って きっぱりした かんじ**

「〜だ。」で 話を むすぶ。

5　**イ 相手の 考えも みとめて、理由を 言う**

意見に 反対しても、人を きずつけない。

6　**ウ それぞれの よい ところを くらべて 話し合う**

どちらの 考えも 聞いて みる。

7　**ウ わたしは 三年生です。**

「だ」を ていねいな 言い方に する。

8　**エ きじの ようすが 目で 見て 分かる**

言葉だけより つたわりやすい。

9　**ア 動物か 植物か**

生きものの しゅるいで 考えよう。

10　**エ そう 考えた 理由**

「なぜなら 〜だからです」。

11　**ア 目次**

本の 中身の あんない。

12　**イ その 日は 風が 強かった。木の えだが ゆれて いた。**

「です」を とり、むかしの 言い方の まま に する。

13　**ア いちばん 知らせたい ことを はじめに 書く**

読む 人が すぐに 分かる ように。

14　エ 川を 大切に したい こと

「考えて います」の ところに 思いが ある。

15　エ 話し合って 決める ことがら

「今日の 話し合いの テーマ」の こと。

16　ウ いつ

日にちは 書いて あるかな。

17　エ 短い 言葉で、きじの 中身が 分かる ように

見出しを 読めば、何の きじか 分かる。

18　イ せつ明の 本や 図かんなども 読む

いろいろな しゅるいの 本に 手を のばす。

19　ウ 新聞の きじ

多くの 人に ことがらを 知らせる 文。

20　ウ 時計係

話し合いの 長さを 見て いる 係。